

大会長講演：9月2日(月) 9：40～10：40 A会場 (大講義室)

座長：安西 慶三 (高邦会高木病院糖尿病内分泌肝疾患センター, 国際医療福祉大学医学部, 佐賀大学名誉教授)
 「発達障害児における運動を中心とする自由遊びについて」
 演者：松山 郁夫 (佐賀大学名誉教授, 鎮西学院大学教授)

特別講演1：9月3日(火) 11：20～12：20 A会場 (大講義室)

座長：木村 みさか (京都先端科学大学)
 「ヒトの身体におけるエネルギー代謝と水のターンオーバー：40か国1万人超の国際データベース」
 演者：山田 陽介 (国立健康・栄養研究所)

特別講演2：9月3日(火) 15：20～16：20 A会場 (大講義室)

座長：菅原 正志 (西九州大学健康福祉学部)
 「SSP構想が拓く新しいスポーツ文化」
 演者：日野 稔邦 (佐賀県SAGA2024・SSP推進局)

教育講演1：9月2日(月) 13：10～14：10 A会場 (大講義室)

座長：中村 雅俊 (西九州大学リハビリテーション学部リハビリテーション学科)
 「ヒト生体における腱の力学的特性の適応性」
 演者：久保 啓太郎 (東京大学)

教育講演2：9月2日(月) 13：10～14：10 B会場 (1F/2101)

座長：江島 弘晃 (長崎国際大学人間社会学部)
 「カルシウムイオンの制御から見た骨格筋の機能と適応」
 演者：狩野 豊 (電気通信大学脳・医工学研究センター)

教育講演3：9月2日(月) 14：20～15：20 B会場 (1F/2101)

座長：中里 浩一 (日本体育大学保健医療学部)
 「骨格筋の頑強性と柔軟性, そして多様性」
 演者：小野 悠介 (熊本大学発生医学研究所, 東京都健康長寿医療センター研究所)

【本部企画】教育講演4：9月2日(月) 15：30～16：30 A会場 (大講義室)

座長：中村 雅俊 (西九州大学リハビリテーション学部リハビリテーション学科)
 「エキセントリック運動の特徴と体力医学への応用」
 演者：野坂 和則 (Edith Cowan University (Australia))

教育講演5：9月2日(月) 16：40～17：40 A会場 (大講義室)

座長：松山 郁夫 (佐賀大学名誉教授, 鎮西学院大学教授)
 「佐賀県における糖尿病対策の成果と課題」
 演者：安西 慶三 (高邦会高木病院糖尿病内分泌肝疾患センター, 国際医療福祉大学医学部, 佐賀大学名誉教授)

教育講演6：9月3日(火) 9：00～10：00 A会場 (大講義室)

座長：宮地 元彦 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所, 早稲田大学スポーツ科学学術院)
 「運動による生体恒常性維持効果の分子基盤 — 運動ってなんだ?」
 演者：澤田 泰宏 (国立障害者リハビリテーションセンター)

教育講演7：9月3日(火) 16：30～17：30 A会場 (大講義室)

座長：稲見 崇孝 (慶應義塾大学体育研究所, 大学院健康マネジメント研究科)
 「君たちはどう研究するか」
 演者：野坂 和則 (Edith Cowan University (Australia))

若手研究者講演1：9月2日(月) 14：20～15：20 A会場 (大講義室)

座長：岩本 えりか (札幌医科大学保健医療学部)

「呼吸を評価することで見えてきた運動能力向上の方策」

演者：藤井 直人（筑波大学体育系）

若手研究者講演2：9月2日(月) 16：40～17：40 B会場（1F/2101）

座長：吉村 英一（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所）

「嗅覚機能は高齢期の加齢変化のマーカーとなり得るか」

演者：古瀬 裕次郎（鹿屋体育大学スポーツ生命科学系，福岡大学産学官共同研究機関身体活動研究所）

若手研究者講演3：9月2日(月) 17：50～18：50 A会場（大講義室）

座長：吉子 彰人（中京大学教養教育研究院）

「電気生理学的研究手法を用いたヒト運動神経の評価と体力科学への応用」

演者：渡邊 航平（中京大学スポーツ科学部）

若手研究者講演4：9月2日(月) 17：50～18：50 B会場（1F/2101）

座長：矢次 春風（令和健康科学大学）

「活動量計による身体活動量測定について再考する」

演者：永吉 翔（オムロンヘルスケア株式会社）

若手研究者講演5：9月3日(火) 10：10～11：10 B会場（1F/2101）

座長：井澤 鉄也（同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科）

「脂肪細胞研究の今～運動・環境が脂肪細胞を制御する～」

演者：櫻井 拓也（日本薬科大学薬学部生命科学薬学分野）

若手研究者講演6：9月3日(火) 11：20～12：20 B会場（1F/2101）

座長：土持 裕胤（国立循環器病研究センター研究所心臓生理機能部）

「小動物を対象とした骨格筋深部微小血管の機能評価：運動は血管応答性にどのような影響を与えるのか？」

演者：曾野部 崇（日本医科大学医学部生理学（生体統御学））

若手研究者講演7：9月3日(火) 15：20～16：20 B会場（1F/2101）

座長：中村 友浩（大阪工業大学工学部総合人間学系教室）

「マイオカイン研究の軌跡と将来への展開」

演者：古市 泰郎（東京都立大学人間健康科学研究科）

若手研究者講演8：9月4日(水) 9：00～10：00 A会場（大講義室）

座長：岸本 裕歩（九州大学基幹教育院）

「久山町における身体活動の疫学調査（久山町研究）紹介」

演者：本田 貴紀（九州大学医学研究院附属総合コホートセンター准教授）

若手研究者講演9：9月4日(水) 10：10～11：10 A会場（大講義室）

座長：市川 浩（西九州大学健康福祉学部スポーツ健康福祉学科）

「競技パフォーマンス向上のためのトレーニング研究について考える」

1. パフォーマンスを構成する要素に潜む個性

演者：安藤 良介（ハイパフォーマンススポーツセンター国立スポーツ科学センター）

2. トレーニングジムで得られたデータをどのようにトレーニング研究に活かすか

演者：山下 大地（ハイパフォーマンススポーツセンター国立スポーツ科学センター）

追悼シンポジウム：9月3日(火) 11：20～12：20 C会場（2F/2201）

「－小笠原理紀シンポジウム－ 運動適応への情熱が切り拓いた骨格筋肥大分子メカニズム研究

In Memoriam: Dr. Riki Ogasawara Unraveling the Molecular Mechanisms of Muscle Hypertrophy: A Journey Driven by Exercise Adaptation」

座長：藤田 聡（立命館大学），中里 浩一（日本体育大学）

1. 運動による筋タンパク質合成応答におけるmTORの役割
演者：阿藤 聡 (東洋大学健康スポーツ科学部)
2. 筋肥大における細胞連関
演者：深田 宗一郎 (大阪大学)
3. Identification of a Resistance Exercise-Specific Signaling Pathway that Drives Skeletal Muscle Growth
演者：Wenyuan G. Zhu (Department of Comparative Biosciences, University of Wisconsin-Madison, School of Veterinary Medicine, University of Wisconsin-Madison)

シンポジウム1：9月2日(月) 10：50～11：50 A会場 (大講義室)

「運動ベネフィットを生み出す脳機構：動物-ヒトのスポーツニューロサイエンス最前線」

座長：征矢 英昭, 岡本 正洋 (筑波大学体育系運動生化学研究室)

1. アイマーカーから読み解く運動による認知機能向上効果の脳機構
演者：桑水 隆多 (筑波大学体育系)
2. 一過性の運動による脳内ドーパミンの遊離と認知パフォーマンス
演者：安藤 創一 (電気通信大学大学院情報理工学研究科)
3. セントラルコマンドの神経路メカニズム：「運動ベネフィットの種である」の検証にむけて
演者：木場 智史 (鳥取大学)
4. 低強度運動による記憶増強の脳機構：青斑核-海馬ドーパミン経路
演者：平賀 大一 (筑波大学運動生化学)

シンポジウム2：9月2日(月) 10：50～11：50 B会場 (1F/2101)

「代謝を司る全身臓器の分子制御ネットワーク：脳・脂肪・骨格筋における新知見」

座長：江川 達郎 (京都大学大学院人間・環境学研究科), 横川 拓海 (京都大学大学院農学研究科)

1. 単回運動による糖代謝促進機序
演者：木戸 康平 (産業技術総合研究所健康医工学研究部門)
2. 褐色・ベージュ脂肪細胞を中心とした栄養・代謝調節
演者：小栗 靖生 (京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻栄養化学分野)
3. メラノコルチン経路による末梢組織代謝制御機構に関する新知見
演者：横川 拓海 (京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻食品生理機能学分野)
4. 視床下部のグルコースセンシングにおけるプロスタグランジンの役割
演者：戸田 知得 (熊本大学生命科学研究部中枢性代謝制御学講座)

シンポジウム3：9月2日(月) 10：50～11：50 C会場 (2F/2201)

「スポーツ科学におけるヒトを3次元的に評価する意義と世界最前線」

座長：鷺野 壮平 (産業技術総合研究所人間拡張研究センター), 吉武 康栄 (信州大学大学院総合理工学研究科)

1. 3D超音波法による骨格筋3次元構築手法を用いた力発揮能力の探求
演者：吉武 康栄 (信州大学大学院総合理工学研究科)
2. 医用画像にもとづく被験者個別の筋骨格構造の3次元モデリング
演者：大竹 義人 (奈良先端科学技術大学院大学)
3. 3次元空間で捉えるアスリートの骨格筋
演者：高橋 克毅 (同志社大学スポーツ健康科学部)
4. デジタルヒューマン技術を活用した3次元運動解析による競泳パフォーマンス指標の算出
演者：鷺野 壮平 (産業技術総合研究所人間拡張研究センター)

シンポジウム4：9月2日(月) 10：50～11：50 D会場 (3F/2301)

「体力科学と予防医学の融合：身体活動と運動の役割を考える」

座長：中潟 崇, 安岡 実佳子 (医薬基盤・健康・栄養研究所身体活動研究部)

1. 三次予防分野における身体活動量の評価法・課題
演者：中潟 崇 (医薬基盤・健康・栄養研究所身体活動研究部)
2. 有疾患に対する身体活動及び座位行動
演者：安岡 実佳子 (医薬基盤・健康・栄養研究所身体活動研究部)

3. 下肢運動器疾患に対する身体活動の再考

演者：谷口 匡史（京都大学大学院）

4. がんサバイバーの健康課題に対する身体活動と座位行動の効果

演者：小野 玲（医薬基盤・健康・栄養研究所）

シンポジウム5：9月2日(月) 13：10～14：10 C会場 (2F/2201)

「マイオカインの分泌機構」

座長：高田 真吾（北翔大学），真鍋 康子（東京都立大学）

1. 3D骨格筋培養細胞を活用した脳機能関連マイオカイン分泌研究

演者：橋本 健志（立命館大学スポーツ健康科学部）

2. マイオカイン分泌機構の多様性とその制御

演者：真鍋 康子（東京都立大学）

3. 多光子顕微鏡で迫る細胞膜損傷修復時のマイオカイン分泌メカニズムとその伝達機構

演者：三宅 克也（国際医療福祉大学成田キャンパス基礎医学研究センター）

4. 導入が現実的な遺伝子工学でアップグレードするマイオカイン実験系

演者：麓 佳月（北海道大学大学院医学研究院分子生物学教室）

シンポジウム6：9月2日(月) 14：20～15：20 C会場 (2F/2201)

「ハムストリングス肉ばなれの克服・予防に必要な体力・技術に関する研究と取り組み」

座長：山本 利春（国際武道大学），加藤 基（帝京大学）

1. ハムストリングス肉離れ研究の現在地

演者：東原 綾子（慶應義塾大学体育研究所）

2. ハムストリングスのリスクスクリーニングと回復の程度の評価法

演者：西田 智（流通経済大学スポーツ健康科学部）

3. ハムストリング肉ばなれ復帰に向けた取り組みの変遷とトレンド

演者：廣重 陽介（帝京大学スポーツ医科学センター）

4. 文脈的なトレーニングを用いた復帰支援の実例

演者：武井 隼児（茨城県厚生連総合病院水戸協同病院）

シンポジウム7：9月2日(月) 15：30～16：30 B会場 (1F/2101)

「骨格筋研究の新知見 -基礎から臨床まで-」

座長：北嶋 康雄（広島大学大学院医系科学研究科），本橋 紀夫（国立精神・神経医療研究センター神経研究所）

1. 筋サテライト細胞の部位特異性から探る老化の謎

演者：本橋 紀夫（国立精神・神経医療研究センター神経研究所）

2. 免疫細胞による筋再生機構の理解

演者：北嶋 康雄（広島大学大学院医系科学研究科）

3. 希少難治性筋疾患の治療開発

演者：鈴木 直輝（東北大学大学院医学系研究科）

シンポジウム8：9月2日(月) 15：30～16：30 C会場 (2F/2201)

「スピードアップへの道：子供からプロアスリートまでを対象とした走トレーニングの基礎と実践」

座長：岩崎 領（阪南大学）

1. 子どもを対象としたスプリントトレーニングの基礎と実践

演者：奥平 柁道（岩手大学教育学部）

2. 国内トップレベルの陸上競技選手のスプリント指導における、トレーニング科学の活用事例

演者：尾崎 雄祐（広島大学）

3. 球技系アスリートに対するスプリントトレーニング

演者：岩崎 領（阪南大学）

シンポジウム9：9月2日(月) 16：40～17：40 C会場 (2F/2201)

「十人十色の身体活動：リハビリテーション領域における身体活動評価の課題と介入の考え方」

座長：金居 督之（金沢大学融合研究域融合科学系），田島 敬之（東京都立大学健康福祉学部理学療法学科）

1. リハビリテーション領域における身体活動評価・介入の重要性と課題
演者：田島 敬之（東京都立大学健康福祉学部理学療法学科）
2. 脳血管疾患における身体活動評価の課題
演者：清水 夏生（埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科）
3. 要支援・要介護高齢者における外出の心理・社会的な「質」への着目
演者：小野 敬済（東京大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻）
4. 地域中高年者の慢性運動器痛にまつわる身体活動介入の十人十色
演者：陣内 裕成（日本医科大学医学部衛生学公衆衛生学）

シンポジウム10：9月2日(月) 17：50～18：50 D会場 (3F/2301)

「不規則な睡眠が動脈機能に及ぼす悪影響と有用な日常生活行動」

座長：根来 秀行（ハーバード大学医学部），小林 亮太（帝京科学大学生命環境学部）

1. 睡眠と身体活動，動脈硬化との関連
演者：有竹 清夏（公立大学法人埼玉県立大学保健医療福祉学部）
2. 温熱刺激を取り入れた生活習慣と良質な睡眠
演者：宮園 真美（福岡看護大学看護学部）
3. 腹式呼吸法が睡眠時の自律神経機能，血圧及び動脈機能に及ぼす影響
演者：小林 亮太（帝京科学大学生命環境学部自然環境学部）
4. 光環境が睡眠の質や血管機能に与える影響について
演者：根来 秀行（ハーバード大学医学部，ソルボンヌ大学医学部）

シンポジウム11：9月3日(火) 9：00～10：00 B会場 (1F/2101)

「見る力の科学：球技スポーツのパフォーマンスを高める視覚戦略」

座長：七五三木 聡（大阪大学全学教育推進機構，大阪大学大学院生命機能研究科）

青山 千紗（大阪大学健康スポーツ科学教育研究環）

1. 球技スポーツパフォーマンスのゆらぎに寄与する運動視能の特徴と神経基盤
演者：高見 采加（大阪大学全学教育推進機構）
2. 球技スポーツでの視線行動とその機能的意義
演者：青山 千紗（大阪大学健康スポーツ科学教育研究環）
3. 球技スポーツのパフォーマンスを高める視覚戦略としての脳トレーニング法
演者：七五三木 聡（大阪大学全学教育推進機構，大阪大学大学院生命機能研究科）

シンポジウム12：9月3日(火) 9：00～10：00 D会場 (3F/2301)

「体力医学の視点からみたラジオ体操の健康効果」

座長：澤田 亨（早稲田大学スポーツ科学学術院），甲斐 裕子（公益財団法人明治安田厚生事業団体力医学研究所）

1. ラジオ体操の歴史と現在の取組み
演者：小野 梨沙（NPO法人全国ラジオ体操連盟）
2. ラジオ体操の認知率・実践率について：インターネット調査の解析結果より
演者：井上 茂（東京医科大学公衆衛生学分野）
3. ラジオ体操実践者の人口統計学的，健康状態，生活習慣の特徴
演者：笹井 浩行（東京都健康長寿医療センター研究所）
4. 高齢者のラジオ体操実践は要介護認定・認知症発症を抑制するか？ JAGES縦断研究
演者：辻 大士（筑波大学体育系）
5. ラジオ体操の介入研究について：フレイル高齢者を対象としたランダム化比較試験の結果より
演者：大須賀 洋祐（国立長寿医療研究センターフレイル研究部）

シンポジウム13：9月3日(火) 10：10～11：10 A会場 (大講義室)

「肝疾患に対する運動処方」

座長：高橋 宏和（佐賀大学医学部附属病院肝疾患センター）

1. 運動習慣のない健常人における低強度レジスタンス運動が血清miR-630，miR-5703，およびフラクタルカイン/CX3CL1発現に与える影響
演者：神谷 俊次（久留米大学病院リハビリテーション部）

2. 肝疾患患者における栄養・運動療法の効果と改善時期の検討

演者：原 なぎさ（佐賀大学医学部附属病院肝疾患センター，医療法人ロコメディカル江口病院）

3. 運動惹起性ヘパトカインが脂肪性肝疾患に与える影響の検討

演者：高橋 宏和（佐賀大学医学部附属病院肝疾患センター）

シンポジウム14：9月3日(火) 10：10～12：20 D会場 (3F/2301)

「疲労脳理解と克服に向けた神経体力医学」

座長：松井 崇（筑波大学体育系）

1. 運動時の中枢疲労を形成する脳内乳酸シグナルの2つの役割

演者：松井 崇（筑波大学体育系）

2. 疲労様状態を誘導する神経メカニズムの探索

演者：征矢 晋吾（筑波大学医学医療系，国際統合睡眠医科学研究機構）

3. 一過性の高強度運動後に生じる身体活動量の減少とその神経生物学的機序の検討

演者：船橋 大介（筑波大学体育系）

4. 運動による認知疲労の生理機構

演者：越智 元太（新潟医療福祉大学健康科学部）

5. 認知疲労は自覚できない？：eスポーツを用いた検討

演者：高橋 史穂（筑波大学大学院体育科学学位プログラム）

シンポジウム15：9月3日(火) 16：30～17：30 B会場 (1F/2101)

「アスリートのエネルギー代謝と身体組成変動の包括的アプローチ：科学的洞察と実践的展望」

座長：下山 寛之（筑波大学体育系），塩瀬 圭佑（宮崎大学教育学部）

1. 身体組成変動時のエネルギーバランスとアスリートの減量の実際

演者：近藤 衣美（大阪体育大学スポーツ科学部）

2. 女性のエネルギー代謝における生理学的特徴

演者：石川 明良（東京家政大学短期大学部）

3. 女性アスリートの月経とエネルギー代謝適応

演者：内沢 彰子（筑波大学体育系）

4. アスリートの身体組成変動を評価するための生体電気インピーダンス法の有効性

演者：塩瀬 圭佑（宮崎大学教育学部）

シンポジウム16：9月3日(火) 17：40～18：40 B会場 (1F/2101)

「生物学的視点から骨格筋による代謝調節を考える」

座長：木戸 康平（産業技術総合研究所健康医工学研究部門），田村 優樹（日本体育大学体育学部）

1. 骨格筋におけるフェロトーシス代謝

演者：江島 弘晃（長崎国際大学）

2. マウスにおいて食餌時刻の乱れが骨格筋に与える影響

演者：安倍 知紀（産業技術総合研究所細胞分子工学研究部門）

3. ヒトは600万年の歴史の中で、どのように高い持久的運動能力を獲得したのか？

－ヒトの進化の謎を，分子運動代謝学から問う－

演者：田村 優樹（日本体育大学体育学部体育学科）

4. 運動時乳酸代謝の特徴と役割

演者：竹田 怜央（産業技術総合研究所，電気通信大学情報理工学研究科）

5. 不活動による骨格筋インスリン抵抗性の機序

演者：木戸 康平（産業技術総合研究所健康医工学研究部門）

シンポジウム17：9月3日(火) 17：40～18：40 C会場 (2F/2201)

「大規模長期縦断スポーツ科学研究に基づく健康寿命関連要因の総合的な検討」

座長：大藏 倫博（筑波大学体育系），寺岡 かおり（日本保健医療大学保健医療学部）

1. 大規模質問紙調査のデータに基づいた健康寿命評価尺度の開発

演者：永田 康喜（国立国際医療研究センター臨床研究センター疫学・予防研究部）

2. 簡便に測定可能な体力評価項目に基づく健康寿命評価尺度の開発
演者：林 満勲（筑波大学人間総合科学研究群体育科学学位プログラム）
3. AIで長寿に貢献する体力要素を探る
演者：角田 憲治（山口県立大学社会福祉学部）
4. 手指巧緻性改善プログラムの開発：ランダム化比較試験による効果検証
演者：薛 載勲（筑波大学体育系）
5. バランス能力の改善に向けた生活機能改善プログラムの提案
演者：寺岡 かおり（日本保健医療大学保健医療学部理学療法学科）

シンポジウム18：9月4日(水) 9：00～10：00 B会場（1F/2101）

「運動・トレーニングと酸化ストレス」

座長：鈴木 克彦（早稲田大学），林田 はるみ（桐蔭横浜大学）

1. 運動誘発性酸化ストレスへの好中球の関与
演者：鈴木 克彦（早稲田大学スポーツ科学学術院）
2. 若年女性の栄養状態や運動・トレーニングが酸化ストレスに及ぼす影響について
演者：吉田 恵菜（早稲田大学大学院スポーツ科学研究科）
3. 中高年者のトレーニング習慣と酸化ストレス，加齢との関係について
演者：関 泰一（早稲田大学大学院）
4. Sulforaphane and its protective role in exercise-induced oxidative stress and inflammation
演者：Ruheea Taskin Ruhee（Japan Society for the Promotion of Sciences）

シンポジウム19：9月4日(水) 9：00～10：00 C会場（2F/2201）

「臓器ネットワークで解析する運動効果の深淵」

座長：楠山 譲二（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生体情報継承学分野）
高橋 宏和（佐賀大学附属病院肝疾患センター特任教授）

1. Hyperglycaemia is associated with impaired muscle signalling and aerobic adaptation to exercise that can be restored with SGLT2i
演者：Tara MacDonald（University of Toronto）
2. Unveiling the Secrets of Exercise : From Cellular Crosstalk to Refined Fat Tissue
演者：Pasquale Nigro（Joslin Diabetes Center, Harvard Medical School）

シンポジウム20：9月4日(水) 10：10～11：10 B会場（1F/2101）

「ダンスと体力 ～Dance for allによる多様なダンスの可能性～」

座長：北條 達也（同志社大学健康スポーツ科学部），水村(久埜) 真由美（お茶の水女子大学基幹研究院）

1. 高齢者およびパーキンソン病患者が行う身体表現の可能性
演者：水村(久埜) 真由美（お茶の水女子大学基幹研究院）
2. パタカラプラス：ダウン症候群を持つ方々のためのトレーニングと自動評価環境
演者：三嶋 博之（長崎大学原爆後障害医療研究所）
3. ID（知的障がい者）柔道におけるダンス介入のアイデアとその実践
演者：高橋 将（大東文化大学スポーツ・健康科学部スポーツ科学科）

シンポジウム21：9月4日(水) 10：10～11：10 C会場（2F/2201）

「健康と疾患を制御する個別化栄養の可能性と課題」

座長：田中 茂穂（女子栄養大学栄養学部）

吉村 英一（医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所栄養・代謝研究部）

1. 食品摂取による代謝応答の個人差から考える個別化栄養の可能性と課題
演者：高橋 将記（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院）
2. 消化・吸収を考慮した栄養管理の可能性と課題
演者：濱田 有香（医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所栄養・代謝研究部）
3. 腸内細菌叢を用いたコンディショニングの個別化の可能性
演者：谷澤 薫平（早稲田大学スポーツ科学学術院）

4. エネルギー消費量の個別化栄養について

演者：畑本 陽一（医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所栄養・代謝研究部）

シンポジウム22：9月4日(水) 11：20～12：20 A会場（大講義室）

「体力医学研究の過去と現在と未来」

座長：丸藤 祐子（駿河台大学）、宮地 元彦（早稲田大学）

1. 最大酸素摂取量と健康とパフォーマンス
演者：山地 啓司（富山大学名誉教授）
2. 厚労省の健康づくり施策における体力の位置付け
演者：宮地 元彦（早稲田大学スポーツ科学学術院）
3. Muscular and performance fitnessに関する体力疫学研究
演者：門間 陽樹（東北大学大学院医学系研究科）
4. 最大酸素摂取量と生活習慣病等の関係について紹介
演者：丸藤 祐子（駿河台大学スポーツ科学部）
5. 最大酸素摂取量と総死亡・がん死亡に関する研究
演者：澤田 亨（早稲田大学スポーツ科学学術院）

大塚スポーツ医・科学賞 受賞講演：9月2日(月) 12：00～13：00 A会場（大講義室）

座長：松山 郁夫（佐賀大学名誉教授、鎮西学院大学教授）

特別賞：歩きやすい・歩きにくい地域における身体活動と運動環境との関連

森 隆彰（同志社大学）

奨励賞：運動による筋核動態変化とヒストンシヤペロンSPT16発現の関係

篠崎 智貴（松本大学大学院健康科学研究科）

協賛：大塚製薬株式会社

ランチョンセミナー1：9月2日(火) 12：00～13：00 B会場（1F/2101）

座長：熊原 秀晃（中村学園大学栄養科学部栄養科学科）

「機能性植物を用いた高齢者の心臓自律神経機能および認知機能改善への新たなアプローチ」

演者：石井 好二郎（同志社大学スポーツ健康科学部）

協賛：株式会社サン・クロレラ

ランチョンセミナー2：9月3日(火) 12：30～13：30 B会場（1F/2101）

「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023の概要とエビデンス」

座長：永富 良一（東北大学産学連携機構イノベーション戦略推進センター）

下光 輝一（公益財団法人健康・体力づくり事業財団）

1. 成人を対象にした身体活動・運動ガイド2023
演者：丸藤 祐子（駿河台大学スポーツ科学部）
 2. 健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023こども版の概要
演者：石井 香織（早稲田大学スポーツ科学学術院）
 3. 高齢者を対象にした身体活動・運動ガイド2023
演者：天笠 志保（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）
 4. 働く人を対象にした身体活動・運動ガイド2023
演者：中田 由夫（筑波大学体育系）
 5. 慢性疾患を有する人を対象にした身体活動・運動ガイド2023
演者：小熊 祐子（慶應義塾大学スポーツ医学研究センター、慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科）
- 協賛：公益財団法人健康・体力づくり事業財団/NPO法人日本健康運動指導士会/健康運動指導士養成大学全国連絡協議会

ランチョンセミナー3：9月3日(火) 12：30～13：30 C会場（2F/2201）

座長：藤野 英己（神戸大学大学院保健学研究科）

「サルコペニアに立ち向かう運動と栄養の現在地とこれから」

演者：町田 修一（順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科）

協賛：株式会社カネカ

〔渉外委員会企画プログラム〕 日本体力医学会-ECSSジョイントシンポジウム

9月2日(月) 13:10~15:20 D会場 (3F/2301)

座長: Mitsuharu Okutsu (Graduate School of Science, Nagoya City University)

Kayoko Kamemoto (Faculty of Sport Science, Nippon Sport Science University)

1. Effect of contraction type and intensity on corticomuscular interactions
演者: **Dorian Glories** (*Independent Researcher*)
2. Daily quercetin supplementation alters motor unit behavior and enhances muscle strength adaptation in response to resistance training in older adults
演者: **Taichi Nishikawa** (*Graduate School of Health and Sport Sciences, Chukyo University, Toyota, Japan*
School of Health and Sport Sciences, Chukyo University, Toyota, Japan)
3. Morphological and functional impairments in the neuromuscular junction lead to muscle weakness associated with aging and physical inactivity
演者: **Tatsuhiko Yamaguchi** (*Graduate School of Arts and Sciences, The University of Tokyo*
Japan Society for the Promotion of Science)
4. Hamstrings hypertrophy is specific to the training exercise: Nordic hamstring versus lengthened state eccentric training
演者: **Sumiaki Maeo** (*Ritsumeikan University, Faculty of Sport and Health Science, Shiga, Japan*
Loughborough University, School of Sport, Exercise & Health Sciences, Loughborough, UK)

〔渉外委員会企画プログラム〕 若手研究奨励賞シンポジウム (国際学術交流)

9月2日(月) 15:30~17:40 D会場 (3F/2301)

座長: Tomoka Matsuda (Ritsumeikan University), Hiroyuki Sagayama (University of Tsukuba)

1. Cellular mechanisms underlying overreaching of skeletal muscle following excessive high-intensity interval training
演者: **Daiki Watanabe** (*Graduate School of Sport and Health Sciences, Osaka University of Health and Sport Sciences*)
2. Musashi-2 regulates skeletal muscle fiber type and energy metabolism
演者: **Yasuro Furuichi** (*Department of Health Promotion Sciences, Graduate School of Human Health Sciences,*
Tokyo Metropolitan University)
3. Three-dimensional shape of human skeletal muscle as a determinant of muscle strength
演者: **Jun Umehara** (*Faculty of Rehabilitation, Kansai Medical University*
Human Health Sciences, Graduate School of Medicine, Kyoto University)
4. Even at very low dose, caffeine supplementation has dose-independent ergogenic effects on vertical jump performance in athletes: A randomized controlled trial and meta-analysis
演者: **Tepei Matsumura** (*Faculty of Sport and Health Science, Ritsumeikan University*)
5. A cross-sectional study of leisure time low-intensity physical activity and presenteeism among Japanese workers
演者: **Koki Nagata** (*Department of Epidemiology and Prevention, Center for Clinical Sciences, National Center for*
Global Health and Medicine)
6. Effectiveness of post-injury icing on skeletal muscle regeneration depends on the magnitude of muscle damage
演者: **Masato Kawashima** (*Kawasaki University of Medical Welfare*)
7. Facilitating Memory Consolidation through Light Exercise: The Role of the Locus Coeruleus-Hippocampal Dopaminergic Pathway
演者: **Taichi Hiraga** (*Laboratory of Exercise Biochemistry and Neuroendocrinology, Institute of Health and Sport*
Sciences, University of Tsukuba, Ibaraki, Japan)

〔総務委員会企画〕 ワークショップ

9月2日(月) 17:00~18:00 G会場 (2F/125)

座長: 井上 茂 (東京医科大学, 日本体力医学会総務委員会)

門間 陽樹 (東北大学, 日本体力医学会総務委員会)

1. 部会制の立ち上げと設立に向けた趣意説明
演者: **岩本 えりか** (札幌医科大学, 日本体力医学会総務委員会)
2. 若手の会の立ち上げと設立に向けた世話人の募集について
演者: **門間 陽樹** (東北大学, 日本体力医学会総務委員会)

1日目
9月2日(月)

2日目
9月3日(火)

3日目
9月4日(水)

〔学術委員会企画プログラム〕 研究費取得セミナー

9月2日(月) 17:50~18:50 C会場 (2F/2201)

座長：川西 範明 (千葉工業大学), 水上 健一 (中部大学), 小坂井 留美 (北翔大学)

「グラント (競争的研究資金) 獲得のノウハウ」

演者：堀田 典生 (中部大学), 小野 悠介 (熊本大学)

〔学術委員会企画プログラム〕 キャリアアップセミナー

9月3日(火) 8:00~9:00 C会場 (2F/2201)

座長：幸 篤武 (高知大学), 北村 裕美 (流通科学大学), 尾崎 隼朗 (東海学園大学)

「若手研究者のキャリアパスを考える」

演者：甲斐 裕子 (公益財団法人明治安田厚生事業団体力医学研究所), 小川 静香 (株式会社サイキンソー),
溝上 翼 (大塚製薬株式会社), 大野 佳南子 (株式会社東急イーライフデザイン)

〔学術委員会企画プログラム〕 論文サポートセミナー

9月3日(火) 8:00~9:00 D会場 (3F/2301)

座長：堀田 典生 (中部大学生命健康科学部), 山田 崇史 (札幌医科大学保健医療学部)

小野 悠介 (熊本大学発生医学研究所, 東京都健康長寿医療センター研究所)

「論文投稿のいろは～あなたの研究を体力科学誌・JPFMS誌に掲載してみませんか?～」

演者：後藤 勝正 (豊橋創造大学大学院健康科学研究科), 小坂井 留美 (北翔大学生涯スポーツ学部)

〔渉外委員会企画プログラム〕

日本体力医学会-韓国運動生理学会ジョイントシンポジウム (JSPFSM-KSEP Joint symposium)

9月3日(火) 9:00~11:10 C会場 (2F/2201)

座長：Takayuki Akimoto (Waseda University), Jung-Hyun Kim (Kyung Hee University)

1. Implication of satellite cell behaviors in capillary growth via VEGF expression independent mechanism in response to mechanical loading-induced muscle hypertrophy

演者：阿藤 聡 (東洋大学健康スポーツ科学部)

2. Cross-talk between skeletal muscle cells and vascular cells in angiogenesis

演者：Junchul Shin (Cleveland Clinic Lerner Research Institute)

3. MOTS-c/CK2 pathway is a novel molecular target for type 2 diabetes and sarcopenia in East Asians

演者：熊谷 仁 (University of Southern California)

4. Current understanding of the extracellular vesicles from exercise

演者：Hyo Youl Moon (Seoul National University)

日本体力医学会学会賞受賞論文表彰および講演

9月3日(火) 14:40~15:10 A会場 (大講義室)

座長：宮地 元彦 (早稲田大学スポーツ科学学術院, 学術委員会学会賞選考委員長)

第37回日本体力医学会学会賞

学会賞 (体力科学)：男子大学生ラグビー選手の外傷・障害特性

大垣 亮 (帝京平成大学人文社会学部)

学会賞 (JPFMS)：Associations of sedentary time, physical activity, and cardiorespiratory fitness with metabolic syndrome in Japanese industrial workers: The Toyota Motor Corporation Physical Activity and Fitness Study

Kaori Yagi (Kumagai Institute of Health Policy, Wellness Support Laboratory)

奨励賞：一過性の自転車こぎ運動と下肢への電気刺激の併用が動脈スティフネスに及ぼす影響

西村 里奈 (徳島大学大学院総合科学教育部)

〔渉外委員会企画プログラム〕 国際共同研究の進め方 (ワークショップ)

9月3日(火) 15:20~17:30 C会場 (2F/2201)

座長：城所 哲宏 (日本体育大学), 宮本(三上) 恵里 (順天堂大学)

「国際共同研究の進め方～経験者にいろいろ聞いてみよう!～」

演者：青山 友子 (国立研究開発法人国立成育医療研究センター), 城所 哲宏 (日本体育大学),
熊谷 仁 (University of Southern California), 福 典之 (順天堂大学)

〔本部企画プログラム〕シンポジウム**9月3日(火) 17:40~19:00 A会場 (大講義室)**

「運動施設・プロスポーツ・部活動における感染症対策－次のパンデミックに備えて」

座長：井上 茂, 町田 征己 (東京医科大学公衆衛生学分野)

1. 実際に起きたスポーツジムでの新型コロナアウトブレイク：当事者の経験
演者：大塚 隆弘 (株式会社大丸プランニング)
2. スポーツイベントにおける感染症対策
演者：中山 晴雄 (東邦大学医療センター大橋病院院内感染対策室, 東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科)
3. 運動中のCOVID-19アウトブレイクの原因：システムティック・レビューの結果より
演者：町田 征己 (東京医科大学公衆衛生学分野)

〔学術委員会企画プログラム〕研究環境セミナー**9月3日(火) 17:00~18:00 G会場 (2F/125)**座長：奥津 光晴 (名古屋市立大学大学院理学研究科), 関根 紀子 (放送大学教養学部生活と福祉コース)
田巻 弘之 (鹿屋体育大学スポーツ生命科学系)

「研究の環境整備と継続のための秘訣」

演者：河野 史倫 (松本大学大学院健康科学研究科), 山本 直史 (愛媛大学社会共創学部),
矢野 博己 (川崎医療福祉大学健康体育学科)**持久走大会表彰式 Meet The Legend：9月4日(水) 12:30~13:00 A会場 (大講義室)****スポーツ医学研修会：9月4日(水) 13:40~14:40 A会場 (大講義室)**座長：中里 浩一 (日本体育大学保健医療学部)

「人生100年時代の長寿社会に向けた血管と脳の健康」

演者：岡本 孝信 (日本体育大学体育学部)**一般公開講座：9月4日(水) 14:50~15:50 A会場 (大講義室)**座長：山津 幸司 (佐賀大学教育学部)

「“裏切らない”筋肉体操の生理学的背景」

演者：谷本 道哉 (順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科)